

(参考)

「大網白里市下水道事業公営企業会計システム更新業務
公募型プロポーザル」に係る FAQ

1. 実施要領について

Q1 実施要領第1章7「広域化」とは、どのような形を想定していますか？

A1 「広域化」とは、複数の事業や複数の団体が連携し、会計処理や会計システムを共同化または一体的に運用する取組を広く想定しています。必ずしも組織統合や事業主体の変更を伴うものに限定するものではありません。また、公共下水道事業や農業集落排水事業等の複数の事業区分（セグメント）を対象として、各事業の区分を維持したまま、一つの公営企業会計システムで一体的に管理・運用する取組も含まれます。

Q2 実施要領第2章(5)及び(6)における導入実績は、元請としての実績が必要ですか？

A2 実施要領第2章(5)は、本業務を確実に実行できる体制を有しているかを確認するための参加資格であり、実施要領第2章(6)は、広域化に係る公営企業会計システムの導入に対応した経験を有しているかを確認するための参加資格です。いずれも、元請としての実績であることを条件としているものではありませんが、単なる代理店販売のみの実績は、参加資格に係る導入実績としては含めないものとします。

Q3 実施要領第2章(6)における実績の考え方を教えてください。

A3 下記判断チャートを確認してください。

①広域化に係る公営企業会計システムを導入した実績がありますか？

↓

Y e s →②へ N o →参加資格を満たしません

②次のいずれか（一つでもあてはまれば可）に該当する実績がありますか？

ア 公共下水道と農業集落排水等の複数事業区分（セグメント）を結合した実績
（下水道部門間でのセグメント結合及び管理を想定）

イ 上水道事業、下水道事業または病院事業において、固定資産台帳の整合及び結合処理を行った実績（他部門間でのセグメント結合及び管理）

ウ 統合に伴う財務諸表の作成または修正に係る実績（既存システムのセグメント統合による修正）

↓

Y e s →参加資格を満たします N o →参加資格を満たしません

Q4 実施要領第2章(6)「広域化に係る」とは、どのような実績を想定していますか？

A4 実施要領第2章(6)「広域化に係る」とは、複数の団体や事業を対象とした会計処理やシステム運用の枠組みにおいて公営企業会計システムの導入や設定、データ移行等を行った実績を指しており、広域化を主体的に導入したかを問うものではありません。

Q5 実施要領第2章(6)に「※導入済みシステムに対する追加開発やカスタマイズにより本項(6)ア～ウを実現した場合も、当該実績に含むものとする」との記載がありますが、導入実績で1件、カスタマイズで1件と別々にカウントしていいのでしょうか？

A5 同一の会計システムおよび同一の会計単位に係る導入と追加開発・カスタマイズは、まとめて1件としてカウントしてください。追加開発やカスタマイズの内容については、提案書等において評価します。

2. 様式について

Q6 様式2「会計システム導入実績一覧」と様式3「広域化に伴う公営企業会計システム導入実績一覧」はどのような違いがありますか？

A6 様式2「会計システム導入実績一覧」は、公営企業会計システムの導入に関する一般的な実績を記載する様式です。

一方、様式3「広域化に伴う公営企業会計システム導入実績一覧」は、実施要領第2章(6)の参加資格に係る実績として、広域化に対応した公営企業会計システムの導入実績を記載する様式です。

このため、様式3に記載する実績は、単なる公営企業会計システムの導入実績ではなく、複数団体や複数事業区分（セグメント）を対象とした導入・共同利用・会計単位の結合等、広域化の枠組みに対応した実績を記載してください。なお、様式2と様式3に同一の実績を記載することを妨げるものではありません。

Q7 様式3「広域化に伴う公営企業会計システム導入実績一覧」に記載する実績件数は、どのようにカウントすればよいですか？例えば、A市、B市、C市で共通の公営企業会計システムを導入した場合、実績件数は3件として記載するのか、それとも1件として記載するのでしょうか？

A7 実績件数は、導入した自治体数ではなく、公営企業会計システムごとにカウントしてください。そのため、A市、B市、C市が共同で1つの公営企業会計システムを導入し、共通システムとして構築、運用している場合の実績件数は1件として記載をお願いします。

以上